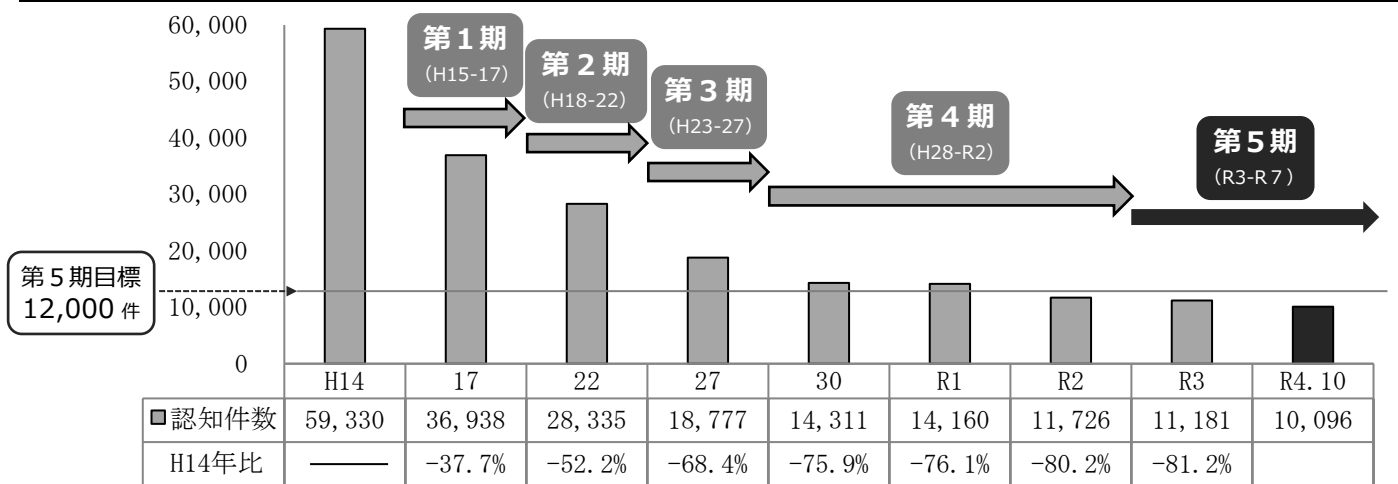


広島県内における犯罪情勢等(令和4年10月末現在)

「減らそう犯罪」第5期
ひろしまアクション・プラン
令和3(2021)年～令和7(2025)年

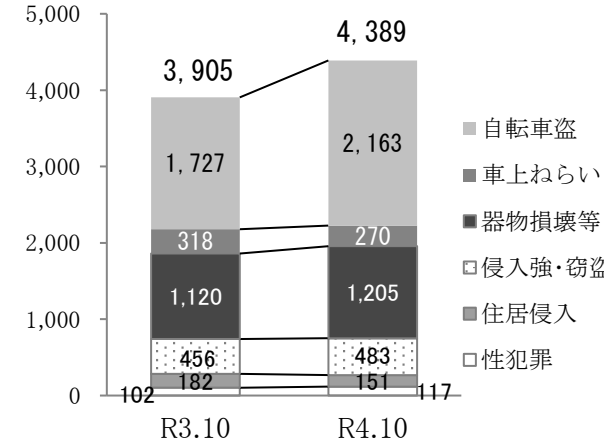
1 刑法犯認知件数(推進指標:年間12,000件以下)



刑法犯認知件数は、平成15年以降、アクション・プランに掲げた指標を達成しながら減少を続け、昨年は目標(12,000件以下)を達成し、平成14年(運動開始前年)比で、81.2%減少しました。本年10月末現在、10,096件で、前年同期比では、859件増加(増加率+9.3%)しています。

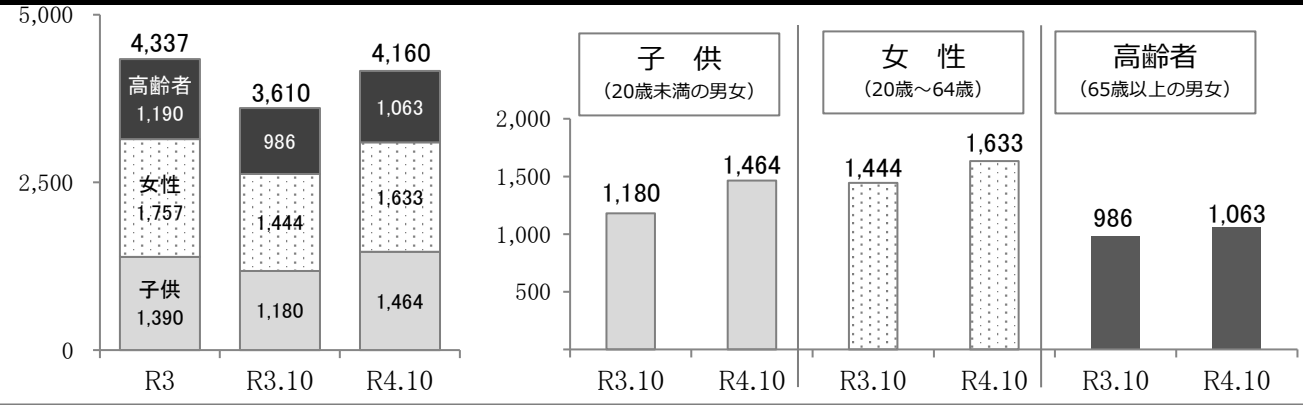
2 不安を感じる犯罪の認知件数(取組指標:年間5,500件以下)

区分	H14	R3	増減率	R4.10
不安を感じる犯罪	30,134	4,662	-84.5%	4,389
自転車盗	10,806	2,076	-80.8%	2,163
車上ねらい	5,244	375	-92.8%	270
器物損壊等	5,744	1,315	-77.1%	1,205
侵入強盗	46	6	-87.0%	7
侵入窃盗	7,139	549	-92.3%	476
住居侵入	799	221	-72.3%	151
強姦性交等	64	33	-48.4%	33
強制わいせつ	292	87	-70.2%	84



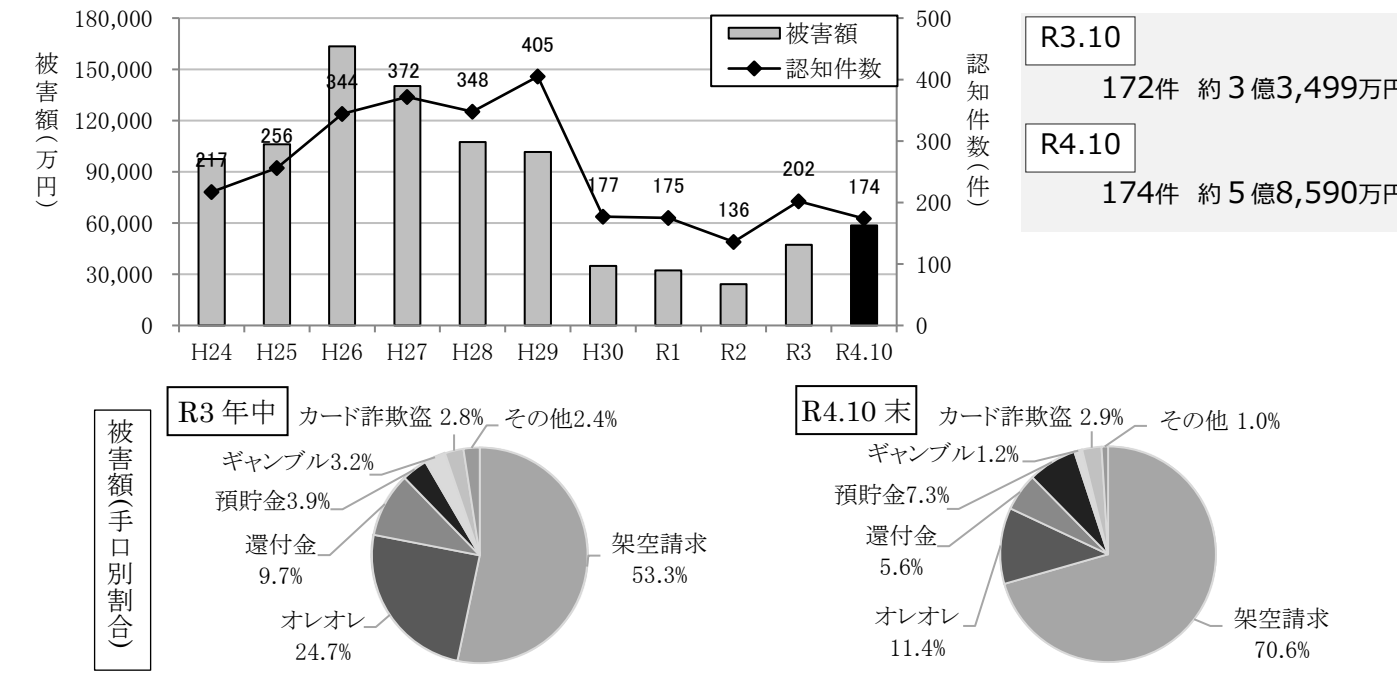
第5期アクション・プランでは、これまでの「身近な犯罪」14罪種から「不安を感じる犯罪」8罪種を抽出し、重点項目としました。本年10月末現在、前年同期比で、484件増加(増加率+12.4%)しています。

3 子供・女性・高齢者が被害となる刑法犯認知件数(取組指標:年間4,800件以下)



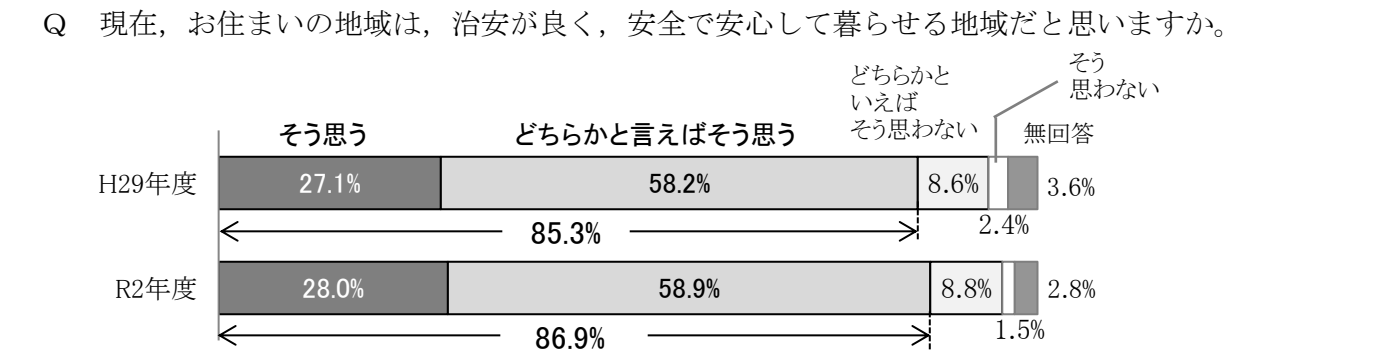
昨年は、前年比で子供・女性の被害は減少し、高齢者の被害が増加しました。本年は10月末現在、前年同期比で、550件増加(増加率+15.2%)しており、子供・女性・高齢者の被害がいずれも増加しています。

4 特殊詐欺の年間被害総額等(取組指標:年間2億円以下)



特殊詐欺の認知件数・被害額は、昨年は7年ぶりに増加に転じました。本年10月末現在、前年同期比で認知件数・被害額共に増加し、被害額は既に昨年の年間被害総額約4億7千万円を超えています。被害額のうち、「架空料金請求詐欺」が昨年に比べ急増しており、また、「預貯金詐欺」も多くなっています。

5 体感治安(推進指標:治安良好と感じる県民の割合90%以上)



令和2年度の県政世論調査(3年ごとに実施)の結果では、居住地域の体感治安について肯定的な回答は86.9%と前回調査から1.6ポイント増加しました。また、安全・安心な生活を送るために重点的に取り組んで欲しい施策については、「防犯カメラや防犯灯の設置促進」「子供を犯罪被害から守るための対策」が高くなっています。

6 フィルタリング(スマートフォンの)の使用率(取組指標:37%以上)

～子供のスマートフォン利用に係る保護者の管理状況～

区分	管理している		管理していない (「分からない」含む)
	うち、フィルタリングを使用している		
広島県(令和4年度)	76.3%	30.2%	23.7%
全国(令和3年度)	86.5%	44.5%	13.5%

※ 全国値は、調査方法や実施時期が異なるため参考掲載
令和4年度の調査結果では、子供がスマートフォンでインターネットを利用している保護者(10～17歳の子供と同居する保護者)のうち、フィルタリングを利用している割合は30.2%でした。